

# 平成 29 年度 三田市定期人事異動方針

## 1 基本方針

平成 29 年度は、第 4 次三田市総合計画後期基本計画のスタートとして、『成長から成熟するまち 三田へ』を目指し、「地域の創生」、「まちの再生」、「人と人との共生」をテーマに諸施策を展開し、新たなキャッチフレーズ「明日の風がみえるまち」の実感できるまちづくりを実現するため、効率的且つ効果的な執行体制の見直しに適応できる、意欲と行動力ある人材の登用と適材適所への人員配置を実施した。

### 【具体的な方針】

#### (1) 管理職への若手の積極的登用

重要施策の推進に向けた体制づくりや行財政構造改革の実行基盤を整えるため、管理職へ若手を積極的に登用した。

#### (2) 活気あふれる産業都市への推進の強化

産業振興に向けた戦略的な取組みを推進していくため、地域振興部に部参事として産業戦略担当を配置するとともに、兵庫県との人事交流により、兵庫県から農業創造課長として若手を登用した。

#### (3) 重要施策の推進に向けた体制整備

##### ① 都市ブランド創造への推進

新たな都市ブランド創造に向けた施策の立案や進行管理を行う「まちのブランド創造課」と「交通まちづくり課」を機動的な体制とするため増員配置を行った。

##### ② 高度化・多様化する福祉ニーズへの対応

高度化・多様化する福祉ニーズへの対応として、事業の充実を図るため保健師の増員配置を行った。

##### ③ 行財政構造改革の推進

平成 29 年度から開始する行財政構造改革や公共施設マネジメント計画等の施策を着実に推進していくため、経営管理部財務室財政課行革推進係の設置に併せ、人員強化を行った。

#### (4) 危機管理体制の強化

災害等危機への対応について、実践等を担える知見を有した人材を育成していくため、平成 29 年 4 月に開設される兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科に職員を派遣した。

#### (5) 職員派遣による他自治体等との連携と人材育成の推進

組織の活性化や関係機関との連携強化、更には人材育成の推進を図っていくため、昨年度に引き続き、職員の派遣等人事交流を積極的に進めた。

① 兵庫県との人事交流等；県市町振興課 1 名、県農産園芸課 1 名、阪神北県民局 2 名

② 東日本大震災復興支援；石巻市 1 名

③ 兵庫県後期高齢者医療広域連合 1 名

#### (6) 女性職員の登用

女性の活躍推進により組織の活性化を図っていくため、昨年度に引き続き、女性の管理職や監督職への登用を進めた。

#### (7) 3つの改革本部長の設置

平成 29 年度から本格的に取り組む 3 つの改革である、①行財政構造改革、②公共施設等マネジメント、③働き方改革について、それぞれ推進本部を設置し、本部長として理事、技監、経営管理部長をそれぞれ充てることとした。

**(8) 市民病院の医療体制の充実**

**① 診療体制の強化**

循環器科、麻酔科の常勤医師及び理学療法士や臨床工学技士の増員を図り、急性期医療を中心とした診療体制を強化した。

**② 看護部門の機能強化**

神戸大学医学部附属病院から副院長兼統括看護部長を招聘するとともに、新人看護師 26 名を採用するなど看護管理体制の強化を図った。

**③ 市行政との連携強化**

看護師 2 名を三田市及び三田市教育委員会にそれぞれ 1 名を派遣した。

- ・健康福祉部保健推進室健康増進課 1 名、
- ・教育委員会（ひまわり特別支援学校）1 名